

ICANNの説明責任強化に関するコミュニティ間ワーキンググループの提案に関するSSAC  
のコメント

SAC071

ICANNの説明責任強化に関するコミュニティ間ワーキ  
ンググループの提案に関するSSACのコメント



## 目次

1	はじめに .....	4
2	SSACコメント .....	4
3	謝辞、自己紹介、異議、および退場 .....	5
3.1	謝辞 .....	5
3.2	自己紹介 .....	6
3.3	異議 .....	6
3.4	退場 .....	6

## 序文

これは、ICANNの説明責任強化に関するコミュニティ間ワーキンググループの提案(ワークストリーム1)に対する、ICANNの安全性と安定性に関する諮問委員会(SSAC)のコメントです<sup>1</sup>。

SSACは、インターネットの命名システムやアドレス割り当てシステムの安全性と整合性に関連する問題に焦点を当てています。その対象には、運用上の問題(正確で信頼性の高いルートゾーン公開システムに関する問題など)、管理上の問題(アドレス割り当ておよびインターネット番号割り当てに関する問題など)、および登録上の問題(レジストリおよびレジストラサービスに関する問題など)が含まれます。SSACでは、インターネット命名およびアドレス割り当てサービスについての脅威評価およびリスク分析に取り組んでおり、安定性と安全性に対する最大の脅威が存在する領域を評価して、ICANNコミュニティに助言を行っています。SSACには、規制、執行、または裁定を行う公式な権限はありません。そのような権能は他者に属するものであり、ここで行う勧告はその価値によって評価されるものです。

このコメントへの貢献者、SSACメンバーの経歴と自己紹介、およびこのコメントにおける結論と提案に関連するSSACメンバーの退場と異議については、本書の最後をご覧ください。

---

<sup>1</sup> 参照:<https://www.icann.org/en/system/files/files/cwg-accountability-draft-proposal-without-annexes-04may15-en.pdf>

## 1 はじめに

安全性と安定性に関する諮問委員会（SSAC）は、2015年5月4日に始まり、元々は2015年6月3日に終了する予定であった公開コメントフォーラムで、ICANNの説明責任強化に関するコミュニティ間ワーキンググループ（説明責任CCWG）の提案（ワークストリーム1）に対してコメントする機会を与えられたことを歓迎します<sup>2</sup>。

## 2 SSACコメント

提案のセクション5.1.2「コミュニティメカニズムの影響」で、CCWGは、支持組織（SO）および諮問委員会（AC）に投票権を与えるための3つのメカニズムを考慮したこと、および「参照メカニズム」が「最も支持されるアプローチ」であったことを記しています。参照メカニズムは、それぞれに2つの投票権が割り当てられているSSACとRSSACを除いて、ACとSOのそれぞれに5つの投票権を割り当てます。

CCWGは、考慮対象だったその他の2つのアプローチよりも参照メカニズムを優先したことについて、次の理由を挙げています。

- b. 参照メカニズムでSSACにより少ない数の「投票権」を割り当てる理由は、SSACがステークホルダーのコミュニティを表すグループではなく、安全性と安定性に関する専門知識を提供するように設計されているICANN内の特別な構成組織であることです。

提案のセクション5.1.2の終わりの部分で、CCWGは次のように質問しています。

コミュニティメカニズムのさまざまなグループの相対的な影響度に関連して、説明責任CCWGに対して、提案されているオプションについて、どのようなガイダンスを提供しますか（ある場合）。必要とされる説明責任の機能または特定の不測事態に対する保護に関する基になる理由を提供してください。

SSACは、この時点において、参照メカニズムの理由に関して何もコメントしませんが、提案されているすべての新規組織構造でのSSACの役割に関して、次の所見と要求を行います。綱領によると、SSACの役割は、「インターネットのネーミング/アドレス割り当てシステムのセキュリティと完全性に関する問題について、ICANNコミュニティと理事会に助言する」ことです<sup>3</sup>。SSACは、その価値に関して

<sup>2</sup> 参照:<https://www.icann.org/public-comments/ccwg-accountability-draft-proposal-2015-05-04-en>および<https://www.icann.org/en/system/files/files/cwg-accountability-draft-proposal-without-annexes-04may15-en.pdf>

<sup>3</sup> 参照:<https://www.icann.org/groups/ssac/charter>

## ICANNの説明責任強化に関するコミュニティ間ワーキンググループの提案に関するSSACのコメント

評価されるもの、および影響を受ける団体による評価に従って適用(または不適用)されるもの以外に関して、勧告に関する適格性を与えられることも求められることもありません。SSACは、この純粋に助言者としての役割は、SSACが最も適しているものであると考え、セクション5.1.2で説明されているオプションのレビューでこのことを考慮することを説明責任CCWGに求めます。

SSACはこの時点で、ICANNおよび理事会がSSACの勧告に従うことを強制するために、法的な組織構造が必要であるかどうか、または望ましいかどうかについて、何もコメントしません。ただし、SSACは、自身の活動の焦点が安全性と安定性の案件に限定されていることと、その権限以外の問題に関与することへの消極的な立場を考慮した場合、提案されている新しいSO/ACメンバーシップモデルがSSACの活動に影響を及ぼす方法に懸念を抱いています。SSACは、安全性と安定性に関して専門家が提供する高い品質の勧告の役割と重要性を認識する組織構造を、コミュニティが採用することを期待します。

SSACは、IANAに関連するNTIAとICANNとの間の契約期間の期限切れなどの外部イベントによって設定されるタイムラインにより、草案を検討するための十分な時間を確保できません。このため、SSACはさらに詳細が策定されるまで、その他のコメントを行う権利を留保します。

### 3 謝辞、自己紹介、異議、および退場

透明性に向けられた関心に対応するため、以下のセクションではSSACプロセスの4つの側面に関して情報を提供します。謝辞のセクションでは、本文書に直接的に貢献したSSACメンバー、外部専門家、およびICANNスタッフのリストを掲載します。自己紹介のセクションでは、すべてのSSACメンバーの経歴を掲載します。これは、この報告書の作成にメンバーが参加する上で示唆される利害関係の対立(現実、表面的、または潜在的)を開示しています。異議のセクションは、個々のメンバーが本文書の内容、またはその準備プロセスについて見解の相違を表明する場です。退場のセクションでは、この報告書に関連するトピックの討議から外れたメンバーを特定します。異議と退場のセクションに掲載されたメンバーを除き、この報告書はSSACのメンバー全員の一致した承認を受けています。

#### 3.1 謝辞

委員会は、この勧告の作成のために時間を割いて貢献していただいた、以下のSSACメンバーおよび外部専門家に感謝します。

##### SSACメンバー

ジャープ・アカフィス  
ライマン・チャピン

ICANNの説明責任強化に関するコミュニティ間ワーキンググループの提案に関するSSAC  
のコメント

パトリック・フェルストロム  
ジム・ガルヴァン  
ロバート・グエラ  
ジュリー・ハマー  
ジオフ・ハストン  
ラム・モーハン

### **ICANNスタッフ**

ジュリー・ヘドランド  
スティーブ・セン

### **3.2 自己紹介**

SSACメンバーの経歴および自己紹介については、<https://www.icann.org/resources/pages/biographies-2014-10-08-en>をご覧ください。

### **3.3 異議**

異議はありませんでした。

### **3.4 退場**

退場はありませんでした。